

～掃除と清掃の違い～

学校の日課表に、『清掃』と書いてあるのに気づいていますか？なぜ『掃除』ではなく、『清掃』なのでしょう？言葉の意味からその答えに迫ると、『掃除』は、「ゴミやほこりを、はいたりふいたりして取り除き、清潔にすること」である。『清掃』は、「薬剤などを使用し、見えない場所まできれいにすること」である。何が違うかということ、『清掃』の方がより念入りに、隅々まできれいにすること。「ゴミひとつないピカピカな状態」まで掃除をするということです。生徒会三本柱のひとつに、「日本一きれいな学校」というものがあります。それを達成するために『清掃』となっているのかもしれませんが。

ある日の清掃時間の光景で、ほうきに付いた埃を、丁寧に取っ除いている人や、廊下の水拭きを、隙間なく隅々まで行っている人がいました。まさに『清掃』をしている光景でした。また、反省会では、それぞれが取り組んだことを拍手でほめ合う場面もありました。わたしも水拭きをみんなと一緒に取り組んだので、拍手をしてもらって、わたしの心まできれいになったような清々しい気持ちになりました。



「湯河原中学校の生活について」には、清掃を一生懸命すると、「協力する気持ちが育つ」、「ものを大切にすることが育つ」、「きれいにできたという達成感が得られる」、「皆の役に立とうとする気持ちが育つ」、「ものごとにまじめに取り組む力が育つ」。そして、「人から信頼される」ようになり、「幸せな人生が送れる」とあります。「今の自分をよりよくしたい」と思っているあなたは、清掃から取り組んでみるといいかもしれません。